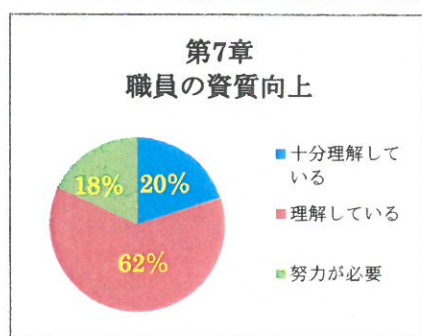
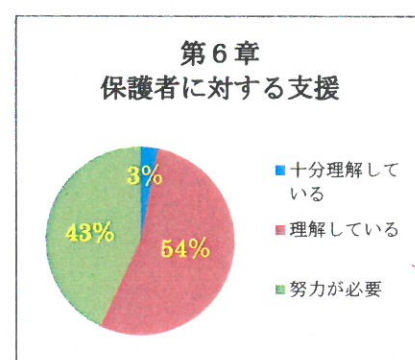
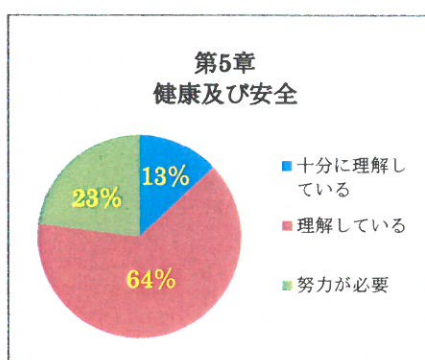
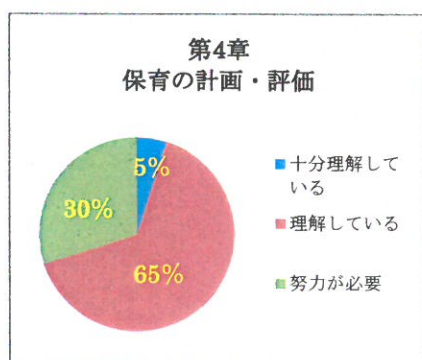
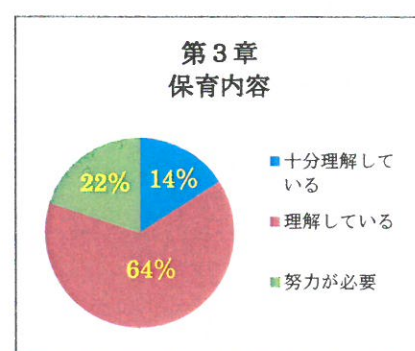
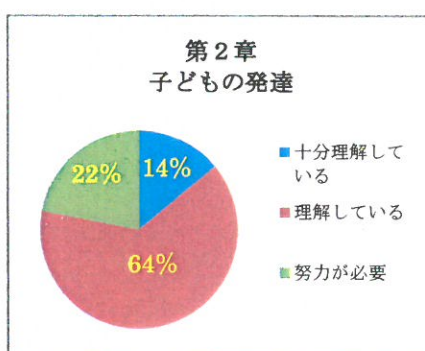
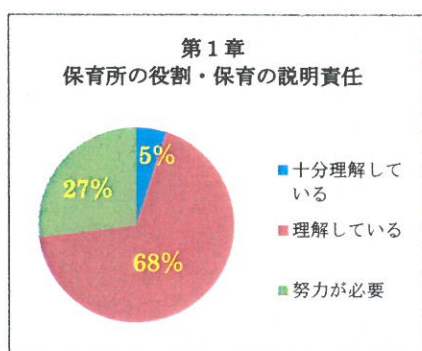


保護者の皆さまへ

当園では『保育所保育指針第1章～第7章』に基づいて、自己チェックリストを作成し、各自、自己評価を行い、職員自身が保育や園の環境を客観的に見る目を養い、主体的に保育内容の改善に努め、質の高い保育が提供出来るように職員全体の資質向上と専門性の向上に努めています。平成29年度前期（4月～9月）の職員一人一人の自己評価を集計し、園の評価として公表致します。



◆平成29年9月30日実施

◇回答者 18名

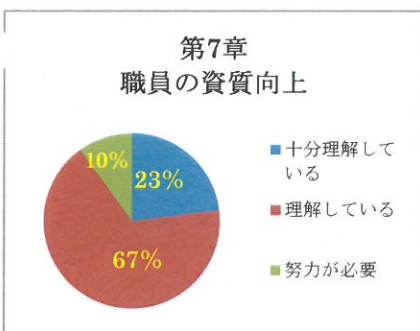
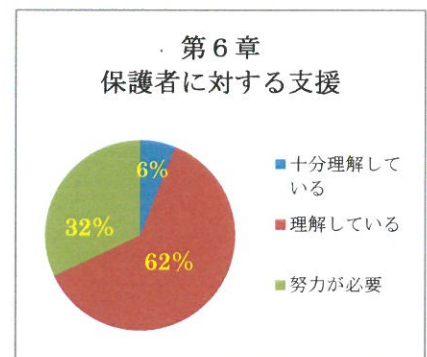
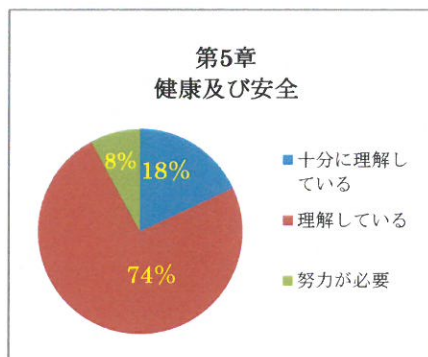
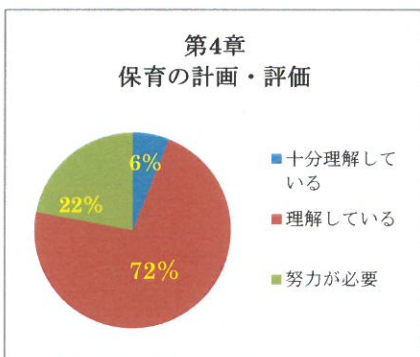
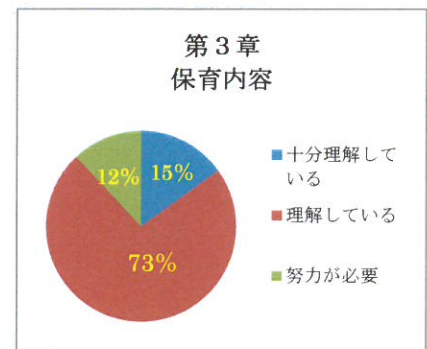
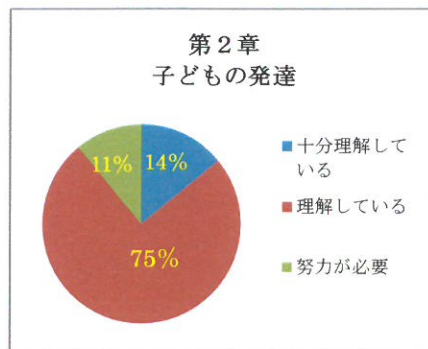
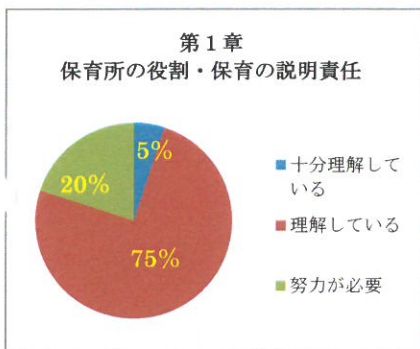
（講評）全体的にどの項目でも『理解している』という評価となった。しかし『十分に理解している』については、『保育所の役割・保育の説明責任』5%『保育の計画・評価』5%『保護者に対する支援』3%と低い結果となり今後の課題である。

保育士一人ひとりが、園の保育理念、目標、方針を確認し、職員全体が周知徹底され、保育の計画に活かせるよう取り組んでいきたい。自己評価を通し、課題を明確化し保育の質を向上させるだけでなく、職員全体で高める取り組みを行い、地域の皆さま保護者の皆さまに信頼いただけるよう努めていきたい。

自己評価を実施することで、個人はもとより、クラス、園全体としての評価を元に振り返りを行うことにより、課題を導きだすことができた。これからも保育の質及び保育所機能の向上をめざして次の保育へ役立てていきたい。

保護者の皆さまへ

当園では『保育所保育指針第1章～第7章』に基づいて、自己チェックリストを作成し、各自、自己評価を行い、職員自身が保育や園の環境を客観的に見る目を養い、主体的に保育内容の改善に努め、質の高い保育が提供出来るように職員全体の資質向上と専門性の向上に努めています。平成29年度後期(10月～3月)の職員一人一人の自己評価を集計し、園の評価として公表致します。



◆平成30年3月31日実施

◇回答者 18名

(講評) 全体的にどの項目でも『理解している』という評価となった。特に『子どもの発達』『保育内容』『健康及び安全』『職員の資質向上』については、『十分に理解している』という評価となった。『保護者に対する支援については、まだ努力が必要であり、今後の

課題である。これからも、保育の質及び保育所機能の向上をめざして自己評価を実施し、社会的役割、保育の専門性を再確認し、自己研鑽に努めたい。

更に職員全体の共通理解を深め、信頼関係を築いていきたい。個人、クラス、園全体としての評価を振り返り、課題を導き出すことができた。今後の保育に活かしていきたい。